



# INFORMATION エセナおおた 第8号

平成16年3月25日

発行:大田区立男女平等推進センター区民自主運営委員会



## 「エセナおおた」を 「NPO 男女共同参画おおた」が管理します

大田区立男女平等推進センター「エセナおおた」は、誰もが自分らしく、私らしく生きられる社会“男女共同参画社会”を実現するための大田区唯一の拠点です。延床面積 2444.52㎡の建物全てが、4月1日から区民によって設立された「NPO 男女共同参画おおた」に管理運営されることになりました。

10数年前、多くの女性たちが当時の女性センターを“男女平等を推進し、男女共同参画社会をつくる総合センター”として、区民の手で運営することを夢みました。その夢が今、実現しようとしています。

エセナおおたの事業のほとんどは、2年前から“区民自主運営委員会”が企画・運営を行ってきました。その過程で、事業をより活性化するためには“自分たちの手で施設運営ができれば”と、運営委員の有志が「自主管理プロジェクトチーム」を立ち上げ、検討を重ねてきました。

昨年9月、地方自治法が改正され、指定管理者制度が導入されたことにより、プロジェクトチームを発展させ、「NPO 男

女共同参画おおた」が設立され、管理代行へ向けて大きく前進することになりました。今回の管理代行により、「エセナおおた」の事業運営は区民自主運営委員会が、施設管理は「NPO 男女共同参画おおた」が行うこととなります。区施設の管理及び事業運営の双方を、区民に全面的に任せるのは、東京23区内では初めての試みです。

今後は「エセナおおた」に集う区民が企画運営の主体として能力を発揮すると同時に、区民が区民のために施設を運営することで、行政の目が届きにくいところを、区民の立場から見直すことができ、きめの細かい、現場にたったサービスの提供ができます。

初の区民による施設運営は、今後、大田区のみならず多方面から注目を浴びることになるでしょう。男女平等推進センターとしての役割に沿って、専門性を身に付けた女性たちのエンパワメントを発揮する場としての「エセナおおた」が動き出します。区民のニーズを敏感に捉え、区民、行政が協働していく新しい歩みが始まります。



### エセナフォーラム参加者・団体募集

男女平等参画社会をめざし、日ごろ活動している内容を発表してみませんか。形態はシンポジウム、ワークショップ、ミュージカル、寸劇、作品展示など自由です。

日程 7月3日(土)～4日(日)

会場 エセナおおた

対象 区内在住・在勤の方か、区内を拠点に活動をしている個人か団体

問合せ・申込み エセナおおた区民自主運営委員会

電話 3766-6587 (9時から17時まで) FAX 5764-0604 (24時間受付)



# のびやかに **メディア社会を生き抜こう!**

わたしらしく



1月23日から3週連続でメディア・リテラシー講座を行いました。私たちの日常生活や考え方にメディアはどう影響しているのか、メディアは私たちに何を伝えようとしているのか、諸橋泰樹さん(フェリス女学院大学文学部コミュニケーション学科教授)のお話をうかがいました。



## 人間の性別 4つのレベル

人間の性別には4つのレベルがある。生物学・医学的性(セックス sex)は身体の構造から判断される。社会的・文化的性(ジェンダー gender)はその社会が要求する性役割であり、世界には男女の役割が逆転している国もあり、性役割(らしさ)は多様かつ相対的。性自認(ジェンダー・アイデンティティ gender identity)は自分の性をどのように認識しているかということ。性的指向(セクシュアル・オリエンテーション sexual orientation)は性や恋愛対象の方向を表す。(講義から)

メディア・リテラシーはメディアを読み解く能力です。ただ、読み解くだけでなく、読み解いた結果をメディアに対して伝え・働きかける能力や双方向の多様なコミュニケーションを作り出す能力のことをいいます。メディア・リテラシーの力を獲得するにはメディアとはどういうものかを知る必要があります。

## メディアとは何か

メディアは媒体 情報の乗り物です。テレビ、新聞、ラジオ、本、雑誌、パソコン、電話、手紙、映画、CD、レコード、DVD、ビデオ、手紙、年賀状、DM、点字、彫刻、駅の伝言板、教室のホワイトボード、ファッション、デザイン、形、人のしぐさ、間合い、腕組み、無言など情報が宿っているものすべてがメディアです。メディア・リテラシーは多くの人に一度に大量の情報を発信するマスメディアを問題としています。

## 日本のメディア状況

日常に根を下ろしている テレビが始まって50年。テレビが普及する前、メディアはこんなに遍在していませんでした。吊り広告も少なく、街のティッシュ配りもありません。テレビがある家は珍しく、街頭テレビぐらい。世の中、本当に静かでした。今はいたるところに文字があり、メディアのない世界に行くことができません。メディア漬けになっているのが私たちです。

無いと生きていけない かつては農民も漁民も天気を読めました。今は天気予報を聞かないとわかりません。買い物もチラシで安いものを探します。家に帰ったら、すぐテレビをつけます。一日中つけっ放しの人もあります。新聞は取っていないと不安です。ウォークマンを片時も放さず聞いている人、携

帯電話で常にメールしていないと気がすまない人もいます。物理的にも精神的にもメディアが無いと生きていけないと思われ、ほとんど依存状態にあります。

メディアは何を伝えているか メディアは社会の出来事を教えてくれます。いろいろな知識を知り、癒され、人とのコミュニケーションの手段になります。家において、南極や地球の裏側のこと、火星のことがわかります。いろいろなことを知らないよりは知っていた方がいいのは当然です。知ることによって知的になり、批判力を持つようになります。

メディアは支配の道具 人が知的になることを好まない為政者が必ず弾圧する道具でもあります。文字は一部のインテリかお金持ちのもので、普通の人から取り上げられてきた歴史があります。60年前の日本は知らしめず、よろしむべからず知らしむべからずでした。どんな本を読んでいるのか、どんな新聞を出すのか、政府が許した新聞、映画、ポスターだけ、みんなを同じ色に染めます。メディアは人の心を支配し、人の能力や行為も支配し、自分たちが好き勝手に使うことで人間を画一化していく道具にもなります。

メディアは商売の道具 メディアは商売です。多メディア化が進行し、同業種、異業種での熾烈な戦いがあります。2016年にはデジタル波に変わって、今のテレビ受像機は受信できなくなります。国、メーカー、テレビ局がインターネットに勝つために、国民不在の競争が始まっています。競争に勝つために最初にするのがリストラです。人員の整理、労働強化、アウトソーシング、パート化は質の低下を招き、歪みをうみます。やらせ、視聴率の買収や景品づけが行われ、視ていなくてもいかにも視ているようにすると、スポンサーがつきま

す。情報の中には不必要なもの、信頼できないもの、間違っ  
たものもあります。私たちはそれを見せられています。

### メディアは女性(男性)をどう表現しているか

メディアは構成されている 映像や音や文字で提供され  
る情報はさまざまです。テレビで視ているものがどんなに自  
然にみえても、必ず台本が作られています。天気予報、ニュー  
ース、街頭インタビューなどでは、女性が出てくると生活感の  
ある話、男性は政治や経済に関係のある話をします。ワイドシ  
ョーは背広姿の中年男性と華やいた若い女性の組合せ、女  
性の性的特徴を強調し、CM も女性と男性では背景・音・雰囲気  
がまるで違い、あらゆる所に既存の女性観・男性観、性役  
割(ジェンダー)が滑り込んでいます。視ている人は描かれて  
いる女性(男性)のあり方を自然だと思い、正当なものと思  
います。それが既存のジェンダー観を強化しています。

メディアは現実を構成する メディアはある種の影響力をも  
たらしています。世の中にある無数の出来事の取り上げ方の

度合いによって、私たちの認識は変わることがわかってきて  
います。私たちはメディアが取り上げたものを現実と思ってい  
まいます。逆に報道されないと、事実があったとしても、その  
出来事は無かったこととなります。

メディアは意図的である メディアは誰かが何らかの意  
図をもって構成しています。たとえ無意図的に撮ったとしても、  
受け手の性別、年齢や経験などから、ある種の意図を読み解  
きます。

メディア・リテラシーの第一歩はジェンダーの視点からみて、  
歪んでいることに気づくことです。人は性別に関係なく自由で  
あり、不当な扱いに耐える必要はありません。見る・聞く・話  
す・書く・読む・移動する・知る・会合・アクセスする能力を得  
て、既存のメディアを分析・批判し、伝えるだけでなく、自分た  
ちの多様な情報を発信するためのコミュニケーションネットワ  
ークをつくりだす力につなげていくことがメディア・リテラシー  
の目標です。 (まとめ 田中きょうこ)

## 2004 年度講座案内

### 冬のソナタで始める韓国語講座



日時 : 4月21日(水)・28日(水)・5月5日(水)・12日(水)・19日(水)・26日(水) 全6回  
毎週水曜 19:00 ~ 20:30

内容 : プームの韓国ドラマ「冬のソナタ」のビデオを見ながら、そのセリフを韓国語で発音し  
ます。韓国語と一緒に韓国文化も勉強します。

対象 : 韓国ドラマ「冬のソナタ」が好きで、韓国語の読み書きができない初心者の方

定員 : 25名(申込者多数の場合は抽選)

費用 : 2000円

講師 : 城内秀子(ソウルに3年間在住経験有り)

会場 : 大田区立男女平等推進センター エセナおおた

保育 : 1歳以上未就学児(年齢の相談は応じます)10名まで。保育料 1人300円(おやつ代他)

申込方法 : 往復はがきに セミナー名 〒住所 氏名(ふりがな) 年齢 電話番号

保育希望の場合はお子さんの氏名、生年月日、性別を記入してお申込みください。

申込先 : 〒143-0016

大田区大森北4-16-4 エセナおおた 区民自主運営委員会

「冬のソナタで始める韓国語講座」係

申込締切 : 平成16年4月9日(金)必着

お問合せ : 大田区立男女平等推進センター 区民自主運営委員会 TEL:03-3766-6587 FAX:03-5764-0604

## パネル展

### 日本女性の労働 どう変わる? どう変える?

4月9日~30日 9:00~22:00  
1階情報コーナー

日本の女性労働の問題点とこれからの展望を表わしたパネ  
ル展です。現代女性の働き方の変化や実態、そこに潜むジェ  
ンダーバイアスを、近過去・現在・近未来と大きく区切って、楽  
しいイラスト、読みやすい話し言葉、グラフや表でやさしく語り

ます。また、女性差別撤廃条約、男女雇用機会均等法、男女  
共同参画社会基本法を分かりやすく説明しています。女性の  
働き方をどのようにすれば、安心して働ける社会にしてい  
くことができるかを考えるヒントが得られます。



平成 15 年度 区民自主運営委員会総括会議を開きました！

2月22日(日)午前10時から午後2時まで、運営委員とスタッフで今年度の活動総括をしました。みなさんから出された多くの意見の中からの課題は来年度の方針として組み立て、区民からより親しまれる「エセナおおた」をめざしていきます。

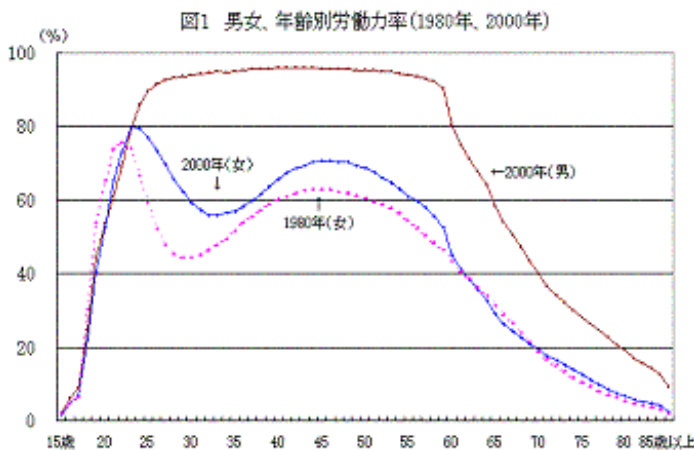


1階受付カウンターに『投書箱』を設置しました。  
みなさまからたくさんのご意見、ご感想をお待ちしています！！  
<男女平等推進センター  
区民自主運営委員会>

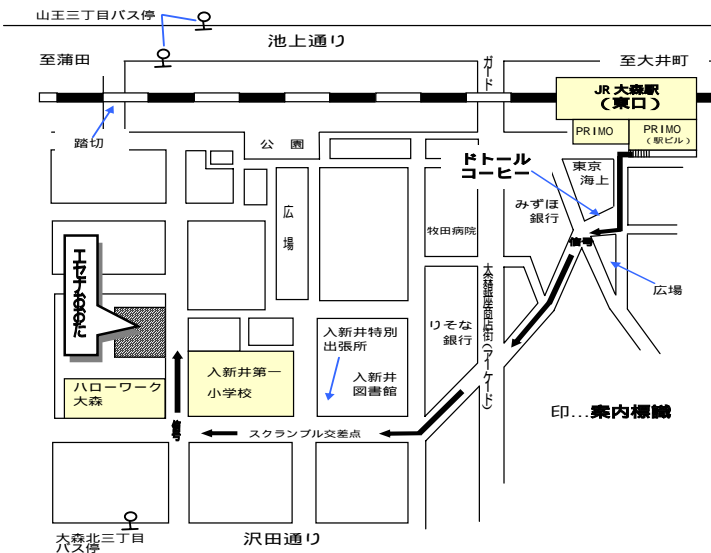


ジェンダーに関することば辞典 No.7

M字型曲線



女性の就業率を年齢別に示すとM字型を描きます。M字型曲線は1960年代後半からみられ、結婚・出産・育児の期間は仕事を辞めて家事・育児に専念し、子育てが終了した時点で再就職するという日本女性のライフスタイルを表しています。性別役割分業意識が根強く、女性が働き続けるための社会制度が整っていないことを意味しています。育児が終了した後の再就職はパートタイム労働者が多く、低賃金で、社会保険なども保障されず、仕事の内容も単純労働を強いられるなど、正社員に比べて労働条件はあらゆる面で劣悪です。このことが女性労働者全体の労働条件の改善を阻んでいる大きな要因にもなっています。それでも20年前と比較すると、谷の水準が大きく上昇し、M字型が緩やかになってきています。



大田区立男女平等推進センター  
区民自主運営委員会  
東京都大田区大森北4-16-4  
〒143-0016 (エセナおおた内)  
電話 03-3766-6587  
03-3766-4586  
(17時以降、土、日、祝は下記へ)  
FAX 03-5764-0604

